資料No. 1－1

厚田区地域振興事業提案書

【事業名】 歴史文化振興事業

サブタイトル：（仮称）あつた資料館リニューアル構想事業

1．現　　状 ⇒ 地域課題

厚田では地元出身で深いつながりのある四名の著名人（戸田城聖・子母澤寛・吉葉山・佐藤松太郎）を輩出しており、資料は豊富にあるがひと目に触れず保存されているものもかなり多く存在する。

また、現在厚田公園内管理棟の中に郷土資料館が存在しているが公園来場者数に対し資料館への入館者数は100分の1程度、約300名と極めて少ない状況にある。

2．事業の目的 ⇒ 地域振興事業への思い

これら著名人に特化し、豊富な資料の有効活用を図り、厚田区の歴史上ゆかりの著名人を広く紹介し、厚田区の歴史・文化に触れ親しんでもらうと共に、これらの著名人を輩出した厚田の存在を全道・全国にPRしながら、新たな地域づくりと歴史・文化の伝承を図ることを目的とする。

3．事業構想 ⇒ 目標達成のための手法

著名人の豊富な資料の有効活用を図り、資料館構想 第一弾としてパネル展を実施し、これら四大著名人に対するニーズを把握する。

次に、パネル展で得た多くの方々のニーズを活かした資料館構想をまとめ、リニューアルオープンを目指す。

その手法として、地域住民のなかでこれら著名人に興味を持ち詳しい方々が主体となるプロジェクトチームとの協働により、今ある全ての資料を再度整理確認し、具体的な目標を定め、新たな資料館構想（展示レイアウト）を策定する。

4．事業効果 ⇒ 地域振興への結び付き

全道、全国、区内外の多くの人たちに、これら著名人を輩出した厚田の存在をPRすることができ、厚田の観光スポットである「厚田公園」「あいロード夕日の

丘」さらには21年度オープンする「海浜公園」との一体的なつながりを導きだすばかりでなく、地域住民との協働による資料館構想の実現により、※1地域に更なる動きと新たな地域づくりへの活性化が図られる

※1　ボランティアによる資料説明員並びに観光案内員の誕生

※1　やまどりの会との連携（案内版の制作）

5．事業計画 ⇒ スケジュール

H21年12月	地域振興事業全体構想提案・予算措置 ※ 第1弾パネル展事業計画並びに事業予算試算
H21年1月～4月末	資料整理確認、台帳の作成 ※ 今ある資料の把握確認
H21年8月	パネル展開催（本庁・厚田） ※ ニーズの把握（アンケート調査実施） ※ リニューアルされた資料館においてもパネル展で使用したパネルの有効活用を図る
H21年5月～9月末	資料館構想策定 ※ 構想図面・展示レイアウトの作成 ※ 必要経費試算（内部改修・外構・看板等に係る経費の積算）
H21年9月	地域振興事業提案（地域協議会へ）
H22年7月	あつた資料館 リニューアルオープン